

製品名: RBMY1A1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21239**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:300
分子量	Calculated MW::Observed MW:55kD

抗原情報

遺伝子名	RBMY1A1;RBM1 RBMY1A1;RBM1;RBM2;YRRM1;YRRM2;RNA-binding motif protein, Y chromosome, family 1
別名	member A1 ;RNA-binding motif protein 1;RNA-binding motif protein 2;Y chromosome RNA recognition motif 1;hRBMY;
遺伝子 ID	5940.0
SwissProt ID	P0DJD3
免疫原	ヒト RBMY1A1 の合成ペプチド

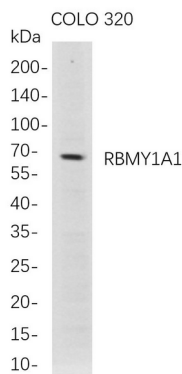
背景

細胞局在: 核。この遺伝子は、N末端にRNA結合モチーフ、C末端に4つのSRGY (セリン、アルギニン、グリシン、チロシン) ボックスを含むタンパク質をコードします。このタンパク質は精子形成におけるスプライシング制御因子として機能すると考えられています。この遺伝子の複数の近縁パラログは、Y染色体AZFb無精子症因子領域内の遺伝子クラスターに存在します。これらの近縁コピーのほとんどは偽遺伝子であると考えられていますが、いくつかは機能性タンパク質をコードしている可能性があります。
[RefSeq 提供、2016年3月]

研究分野

-

画像データ



COLO 320 全細胞ライセートのウェスタンブロット解析では、4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを抗 RBMY1A1 ウサギモノクローナル抗体でブロッティングした。抗体の検出には、HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。